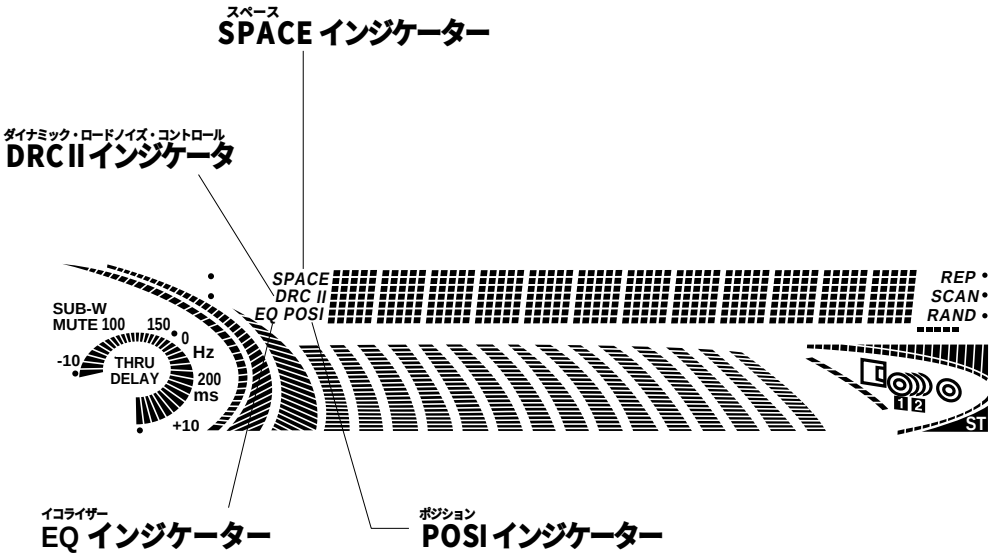
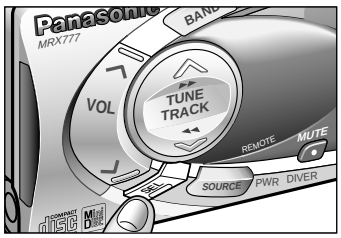
サウンド設定

サウンド設定の表示



サウンド設定項目を選ぶ



SEL ボタンを押す。

● ボタンを押すごとに，次のように切り替わります。

通常モード → HUMAN EQ → GRAPHIC EQ → BAL//FAD
↑ ↓
DRC II SELECT ← SUPER BASS ← POSITION SEL

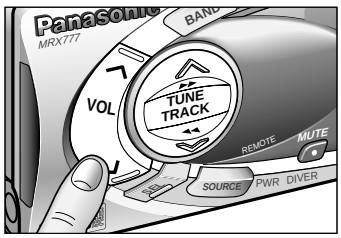
お知らせ

ヒューマンイコライザー（HEQ）

● 音質を調整する

複雑なイコライザー調整の手間をはぶき，簡単に音質を調整することができます。下のHEQ設定図を参照し，音楽ソフトのジャンルや自分の気分に合った音質を設定してください。センターをFLAT（0）とし，主に縦軸で低音域の豊かさ，横軸で高音域の明快さを調整します。　［初期設定：FLAT（0），調整範囲：各1 ～ 3（49種類）］

サウンド設定項目を“HUMAN EQ”にする。**（P.31 参照）**



VOL ∧∨ ボタン または TRACK ►► ◄◄ ボタンを押す。

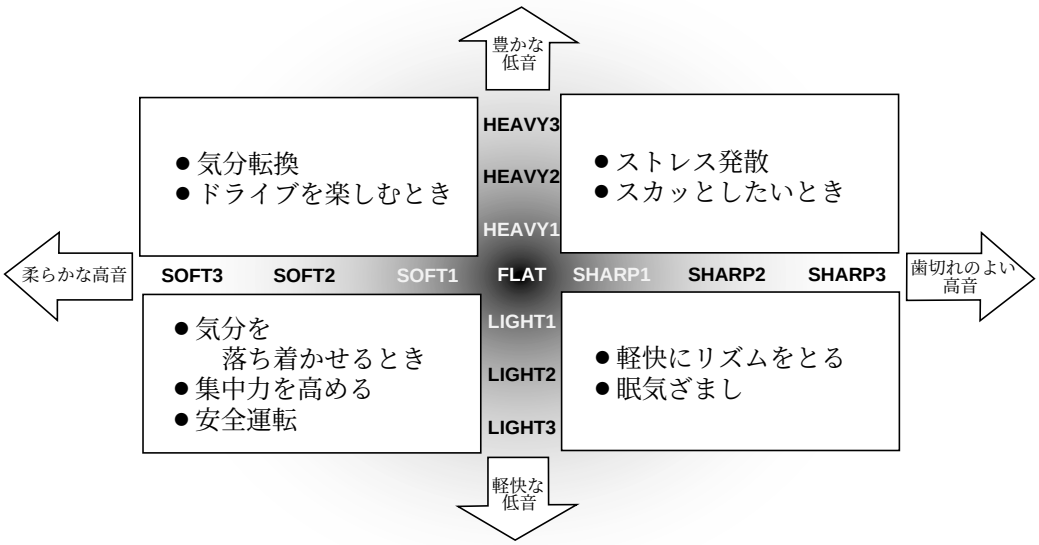
※ リモコンの場合には，**∧∨，＞＜ボタン** を押します。

VOL ∧　　：HEAVY（豊かな低音）に変化する。
VOL ∨　　：LIGHT（軽快な低音）に変化する。
TRACK ►►：SHARP（歯切れのよい高音）に変化する。
TRACK ◄◄：SOFT（柔らかな高音）に変化する。

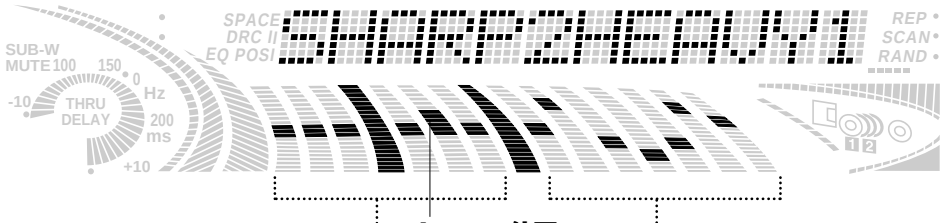
- カーソルが上下左右に移動し，調整した位置で点滅します。
- 調整中は EQインジケーターが点滅し，設定されると点灯します。

※ 引き続き次ページの音場設定をすると，さらにリアルな音響を楽しむことができます。

HEQ設定図



HEQ のディスプレイ表示



カーソル位置

HEQ設定表示
スペアナ表示部の左半分に，設定した音質が表示され，カーソルが点滅します。

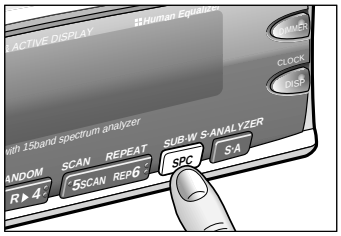
イコライザーカーブ特性表示
スペアナ表示部の右半分に，設定した音質のイコライザーカーブが表示されます。

●音場を再現する

スペース

実際に演奏会場にいるような音場（SPACE）を車室内に再現することができます。サウンドソースごと（FM，AM，CD，MD，CHANGER，AUX）に設定が可能です。　［初期設定：SPACE OFF］

サウンド設定項目を“ HUMAN EQ ”にする。（P.31 参照）



SPC ボタンを押す。

SPACE OFF → LIVE HOUSE → CONCERT HALL
↓
JAZZ CLUB
↓
STADIUM → DISCO → VOCAL
↑
CINEMA
↑
SPACE OFF

● 音場を設定すると，SPACEインジケーターが点灯します。

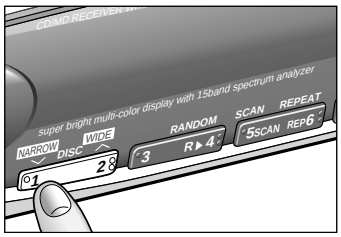
お知らせ
スペースは，サウンド設定項目の切り替えをしなくても設定できます。

●音場空間を調整する

ナロウ／ワイド

設定した音場に対して，さらに空間の広がりを調整することができます。［初期設定：0，設定範囲：−3 ～ +3］

サウンド設定項目を“ HUMAN EQ ”にする。（P.31 参照）



NARROW ボタン　または　WIDE ボタンを押す。

NARROW　：　音場空間が狭くなる。
WIDE　　：　音場空間が広くなる。

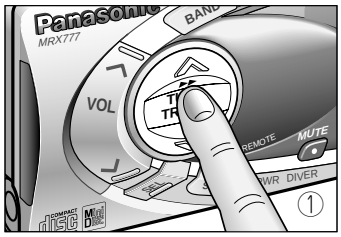
例）音場効果設定が“ HALL ”の場合
NARROW.....小さいホールの雰囲気を再現します。
WIDE .....大きいホールの雰囲気を再現します。

グラフィックイコライザー（GEQ）

● 音質を周波数ごとに調整する

GEQ調整は，周波数の帯域ごとのレベル調整で，自分好みの音質を設定できます。
［初期設定：各周波数とも0 dB，調整範囲：－12 dB ～＋12 dB（2 dBごと）］

サウンド設定項目を“GRAPHIC EQ”にする。（P.31 参照）



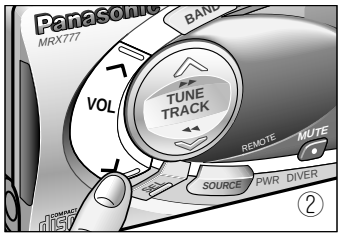
① **周波数を選択する**

TRACK ►► ボタン を押す。

- ボタンを押すごとに，次のように切り替わります。（**TRACK ◄◄**：逆回り）

80 → 160 → 320 → 640 → 1.6 k → 4 k → 10 k（Hz）

- 左右方向に移動し，選択している周波数が点滅します。



② **レベルを調整する**

VOL ∧ ボタン または VOL ∨ ボタンを押す。

※ リモコンの場合には，**∧∨ ボタン** を押します。

VOL ∧ ： レベルが上がる。
VOL ∨ ： レベルが下がる。

- 上下方向に移動し，調整したレベルが点滅します。

※ ①②を繰り返して，各周波数のレベルを設定します。

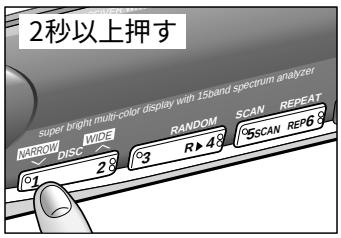
- 調整中は EQインジケーターが点滅し，設定されると点灯します。

● 調整した音質をメモリーする

GEQメモリー

GEQ調整した音質（GEQカーブ特性）を，1 ～ 6ボタンにメモリーすることができます。（6パターンまで可能）

サウンド設定項目を“GRAPHIC EQ”にする。（P.31 参照）



1 ～ 6 ボタンの何れか一つを，2秒以上押す。

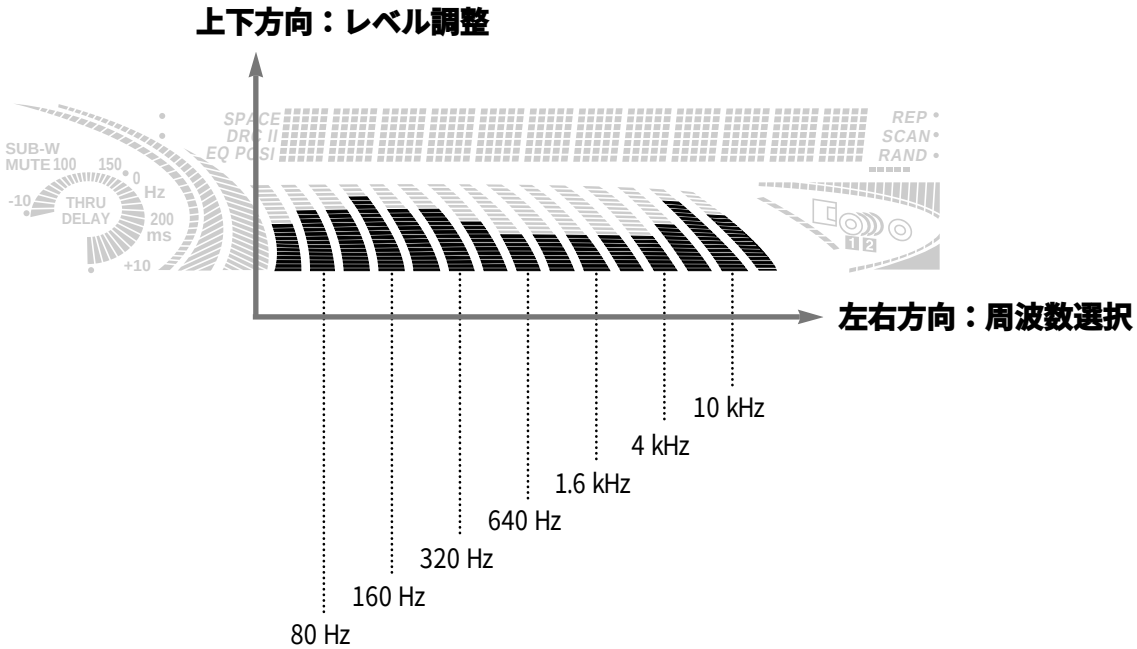
- 現在のGEQカーブ特性が，押したボタンにメモリーされます。
- メモリーが完了すると，プリセットメモリー番号表示が点滅します。

お知らせ
GEQメモリーをすると，前にメモリーされていたGEQカーブ特性が消去され，新しいGEQカーブを上書きします。

GEQ のディスプレイ表示

イコライザーカーブ特性表示

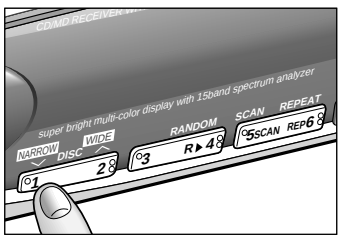
スペアナ表示部全体に，設定した音質のイコライザーカーブが表示されます。



● 音質のメモリーを呼び出す

メモリーしたGEQカーブ特性を，ボタン1つの操作で呼び出すことができます。

サウンド設定項目を“GRAPHIC EQ”にする。**（P.31 参照）**



1 ～ 6ボタンの何れか一つを押す。

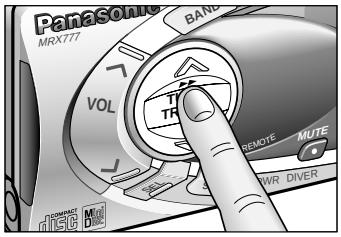
- メモリーされているGEQカーブ特性を呼び出します。

左右前後の音量バランスを調整をする

バランス／フェダー

左右前後のスピーカーの音量バランスを調整することができます。

サウンド設定項目を“ BAL//FAD ”にする。（P.31 参照）



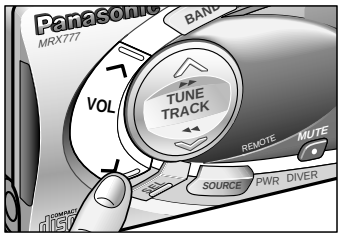
■バランス（BAL）：左右の調整

［初期設定：CNT（センター），設定範囲：R 15 ～ L 15］

TRACK ►► ◄◄ ボタン を押す。

※ リモコンの場合には，**＞＜ボタン** を押します。

TRACK ►► ：右（R：RIGHT）を強調する。
TRACK ◄◄ ：左（L：LEFT）を強調する。



■フェダー（FAD）：前後の調整

［初期設定：CNT（センター），設定範囲：F 15 ～ R 15］

VOL ∧∨ ボタンを押す。

※ リモコンの場合には，**∧∨ ボタン** を押します。

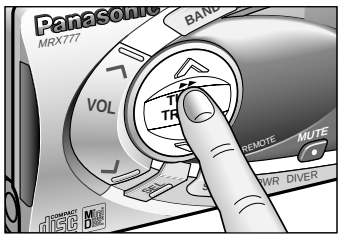
VOL ∧　　：前（F：FRONT）を強調する。
VOL ∨　　：後ろ（R：REAR）を強調する。

乗車位置に合わせた音像にする

ポジション

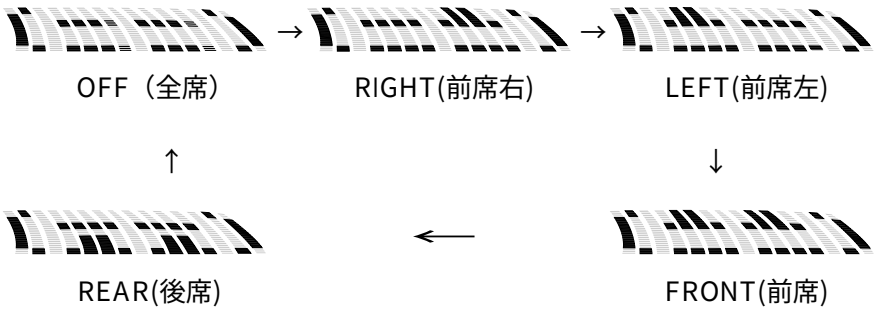
乗車位置や人数に合わせて，音像を聴く人のいる位置に調整することができます。　［初期設定：OFF］

サウンド設定項目を“ POSITION SEL ”にする。（P.31 参照）



TRACK ►► ボタン を押す。

● ボタンを押すごとに，次のように切り替わります。（**TRACK ◄◄**：逆回り）



● 調整中は POSI インジケーターが点滅し，設定されると点灯します。

リヤースピーカーで低音域を強調する

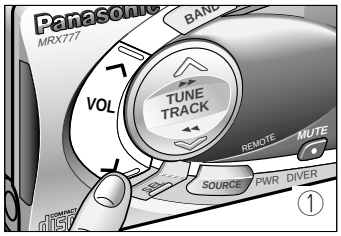
スーパーベースコントロール〈内蔵アンプリア出力〉

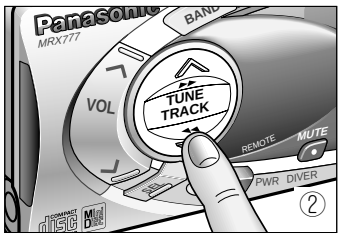
リヤースピーカー（内蔵アンプ）を活用して，4スピーカーでも手軽に重低音を楽しむことができます。

お知らせ
- SBCとSBC-SWは，同時に使用することができません。
- SBCはステレオ出力，SBC-SWはモノラル出力になります。

● リヤースピーカーの低音域を強調する

［初期設定：SBC OFF］





① **SBCモードに切り替える**

表示が“SBC-SW”のときは，VOL ∧ ボタン を押す。

※ リモコンの場合には，**∧ ボタン** を押します。

② **SBCタイプを設定する**

TRACK ►► ボタンを押す。

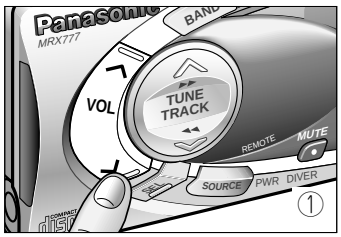
- ボタンを押すごとに，次のように切り替わります。（**TRACK ◄◄**：逆回り）

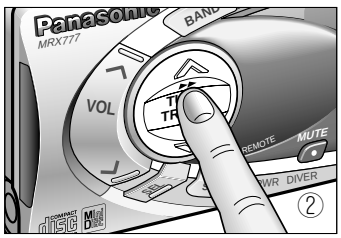
SBC OFF ：通常の平坦な特性のまま再生します。（ノーマル）
↓
SBC TYPE 1 ：アンプ内蔵サブウーファーの特性に合わせて低音を強調します。
↓
SBC TYPE 2 ：半埋め込み型スピーカーの特性に合わせて低音を強調します。
↓
SBC TYPE 3 ：埋め込み型スピーカーの特性に合わせて低音を強調します。

● リヤースピーカーをサブウーファー専用出力にする

リヤースピーカー（内蔵アンプ）の出力する低域周波数の上限を設定すると，リヤースピーカーをサブウーファーとして活用することができます。

［初期設定：SBC-SW OFF］





① **SBC-SWモードに切り替える**

表示が“SBC”のときは，VOL ∨ ボタンを押す。

※ リモコンの場合には，**∨ ボタン** を押します。

② **SBC-SWカットオフ周波数を設定する**

TRACK ►► ボタンを押す。

- ボタンを押すごとに，次のように切り替わります。（**TRACK ◄◄**：逆回り）

SBC-SW OFF → SBC-SW 100 Hz
↑ ↓
SBC-SW 200 Hz ← SBC-SW 150 Hz

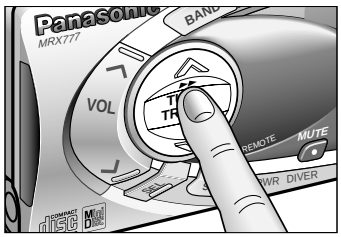
OFF ： 汎用スピーカーを接続したときに設定します。高音域をカットしない通常の出力です。

走行騒音を補正する

ダイナミック・ロードノイズ・コントロール

ロードノイズ（騒音）の多い車室内の音響環境を，走行状態に合わせて補正します。騒音補正量はTYPE1から順に多くなります。下の表を参照し，設定してください。　［初期設定：DRC II TYPE 2］

サウンド設定項目を“DRCII SELECT”にする。**（P.31 参照）**



TRACK ►► ボタン を押す。

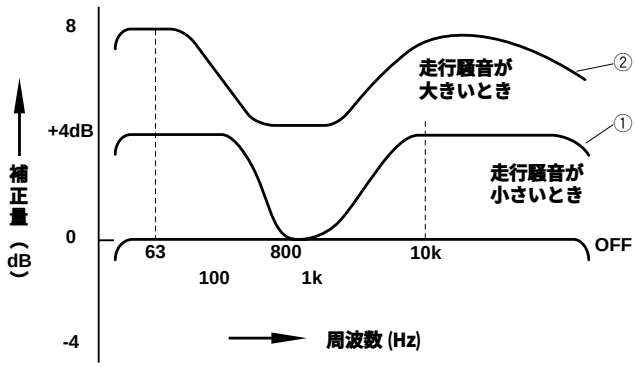
- ボタンを押すごとに，次のように切り替わります。（**TRACK ◄◄**：逆回り）

DRC II TYPE 2 → DRC II TYPE 3 → DRC II TYPE 4
↑　　↓
DRC II TYPE 1 ← DRC II OFF

- 調整中はDRC II インジケーターが点滅し，設定されると点灯します。

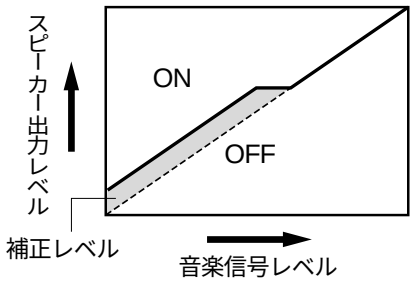
設定モード	用　　途	特　　性
TYPE1	市街地走行用	DRCカーブ①，コンプレッサーOFF
TYPE2	高速走行用	DRCカーブ②，コンプレッサーOFF
TYPE3	市街地走行で静かな音楽を演奏	DRCカーブ①，コンプレッサーON
TYPE4	高速走行で静かな音楽を演奏	DRCカーブ②，コンプレッサーON

走行騒音補正特性（DRCカーブ）



① または ② のパターンに変化します。

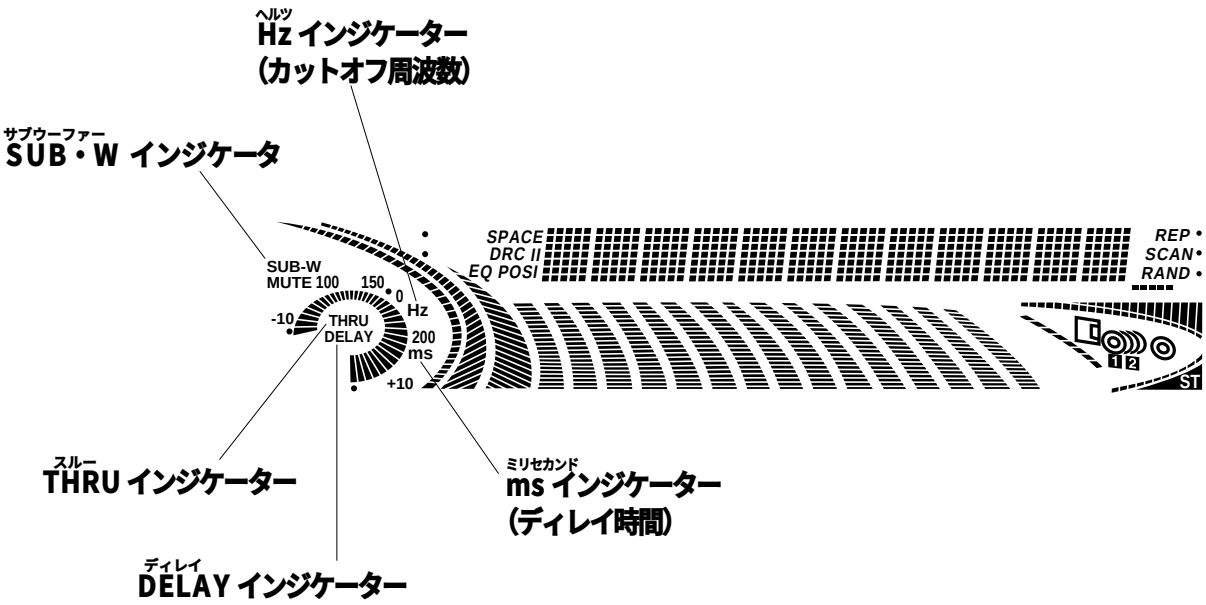
コンプレッサー特性



コンプレッサーとは，静かな音楽信号を聴きやすいレベルに補正するものです。

プリアウト（外部出力）設定

プリアウト設定の表示



プリアウトの設定を選ぶ

デジタル・ダイナミック・ベース・コントロール〈D.D.B.C〉

※ 別売のパワーアンプ（CY-M9054D等）をプリアウトコード（プリアウト設定用）に接続してください。（P.8 参照）

各項目の設定・調整により，本格的なハイパワーサウンドを楽しむことができます。
接続したパワーアンプに合わせて，設定を選んでください。　［初期設定：サブウーファー出力］

- サブウーファー用外部アンプやアンプ内蔵サブウーファーを接続したとき …… **サブウーファー出力（P.40 参照）**
- システムアップ用外部アンプを接続したとき …… **スルー出力（P.42 参照）**

お知らせ
サブウーファー出力とスルー出力は，同時に使用することができません。

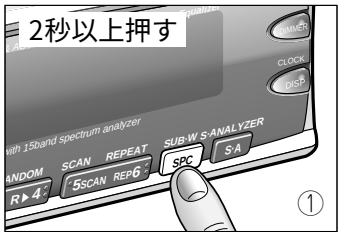
プリアウト（外部出力）設定

サブウーファー出力（PREOUT SUB･W）

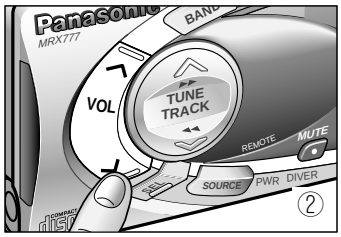
● 調整中はSUB-Wインジケーターが点滅し，設定されると点灯します。

お知らせ
- サブウーファー出力は，内部アンプの音量バランス（フェダー：P.36 参照）を調整しても変化しない，モノラル出力です。
- サブウーファー出力のときは，BAL//FAD，POSITION，SBC/SBC-SW，DRC II，SPACEの効果がありません。

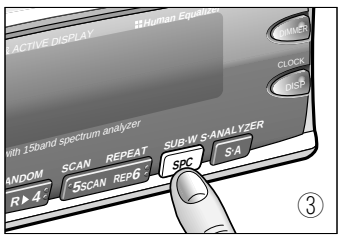
● サブウーファー出力の設定項目を選ぶ



① **プリアウト設定モードにする**
SUB･W ボタンを2秒以上押す。
- サブウーファー出力のとき ： SUB-Wインジケーターが点滅します。
- スルー出力のとき ： THRUインジケーターが点滅します。



② **スルー出力をサブウーファー出力に切り替える**
VOL ∨ ボタン を押す。
※ リモコンの場合には，**∨ ボタン** を押します。



③ **設定項目を選ぶ**
SUB･W ボタンを押す。
- ボタンを押すごとに，次のように切り替わります。

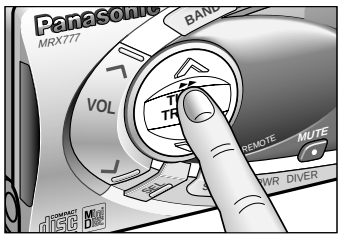
LEVEL SELECT ：音量レベル調整
↓
DELAY SELECT ：ディレイ時間
↓
FREQ. SELECT ：カットオフ周波数

お知らせ

● 音量レベルを調整する

［初期設定：0 dB，調整範囲：−∞ dB，−10 dB ～ +10 dB（2 dBごと）］

設定項目を“LEVEL SELECT”にする。



TRACK ▶▶ ボタン または TRACK ◀◀ ボタンを押す。
※ リモコンの場合には，**＞＜ボタン** を押します。

TRACK ▶▶ ： レベルが上がる。
TRACK ◀◀ ： レベルが下がる。

−∞dB， −10dB ⟵ 0 dB ⟶ +10dB

−∞dB ： プリアウトに接続したアンプから音が出なくなる。

設定・その他

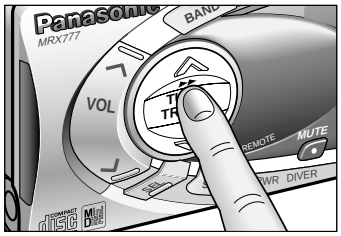
● スピーカーと出力タイミングを合わせる

ディレイ時間

車の大きさやスピーカーとサブウーファーの取り付け位置によって，スピーカーの低音（内部アンプ出力）とサブウーファーの低音（外部出力）の耳に届くタイミングが，ずれてしまうことがあります。サブウーファーの出力タイミングを細かく調整して音が耳に届く時間差（ディレイ時間）をなくし，量感のある重低音を再生します。

［初期設定：0 ms，調整範囲：－10 ms ～ ＋10 ms（1 msごと）※1 ms ＝ 0.001 秒］

設定項目を“ DELAY　SELECT ”にする。



TRACK ►► ボタン または TRACK ◄◄ ボタンを押す。

※ リモコンの場合には，**＞ ＜ ボタン** を押します。

TRACK ►► ： DELAY時間が長くなる。
（スピーカーよりも，サブウーファーの出力の方が遅くなる。）

TRACK ◄◄ ： DELAY時間が短くなる。
（スピーカーよりも，サブウーファーの出力の方が早くなる。）

－10 ms ⟵ 0 ms ⟶ ＋10 ms

0 ms ： スピーカーとサブウーファーが，同時に出力される。

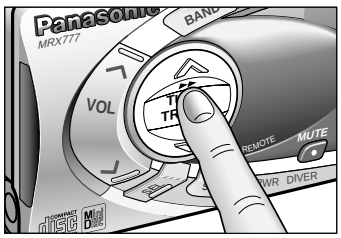
- 調整中はDELAYインジケーターが点滅し，ms インジケーターが点灯します。
- 調整されると，DELAYインジケーターが点灯します。

● 出力する低域周波数の上限を設定する

カットオフ周波数

カットオフ周波数（出力する低域周波数の上限）の設定ができます。　［初期設定：OFF］

設定項目を“ FREQ. SELECT ”にする。



TRACK ►► ボタン を押す。

- ボタンを押すごとに，次のように切り替わります。（**TRACK ◄◄**：逆回り）

※ リモコンの場合には，**＞ または ＜ ボタン** を押します。

OFF → 100 → 150 → 200（Hz）

OFF ： 高音域をカットをしない通常のモノラル出力です。

- 設定されると，Hzインジケーターが点灯します。

お知らせ

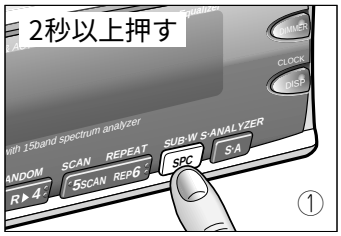
別売の外部アンプに内蔵されたカットオフ周波数や位相差調整機能を使用する場合は，本機のカットオフ周波数を“ OFF ”，ディレイ時間を“ 0 ms ”にしてください。

スルー出力（PREOUT THRU）

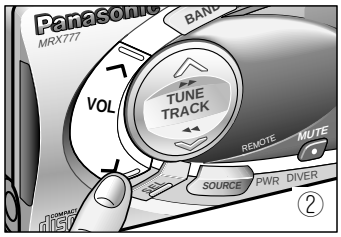
● 調整中はTHRUインジケーターが点滅し，設定されると点灯します。

お知らせ
- スルー出力は，内部アンプの音量バランス調整（フェダー：P.36 参照）に連動して変化する，ステレオ出力です。
- スルー出力のときは，POSITION，SBC／SBC-SW の効果がありません。

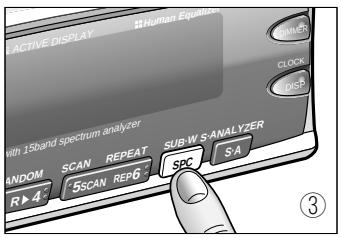
● スルー出力の設定項目を選ぶ



① **プリアウト設定モードにする**
SUB·W ボタンを2秒以上押す。
- スルー出力のとき　：SUB-Wインジケーターが点滅します。
- サブウーファー出力のとき：THRUインジケーターが点滅します。



② **サブウーファー出力をスルー出力に切り替える**
VOL ∧ ボタン を押す。
※ リモコンの場合には，**∨ ボタン** を押します。



③ **設定項目を選ぶ**
SUB·W ボタンを押す。
- ボタンを押すごとに，次のように切り替わります。

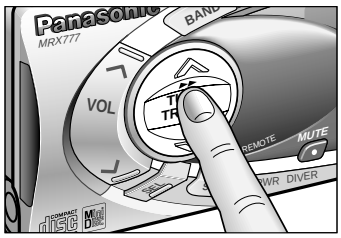
LEVEL SELECT　：音量レベル調整
↕
F/R SELECT　　：フェダー連動設定

お知らせ

● 音量レベルを調整する

［初期設定：0 dB，調整範囲：−∞ dB，−10 dB ～ +10 dB（2 dBごと）］

設定項目を“LEVEL SELECT”にする。



TRACK ▶▶ ボタン または TRACK ◀◀ ボタンを押す。
※ リモコンの場合には，**＞＜ボタン** を押します。

TRACK ▶▶ ：レベルが上がる。
TRACK ◀◀ ：レベルが下がる。

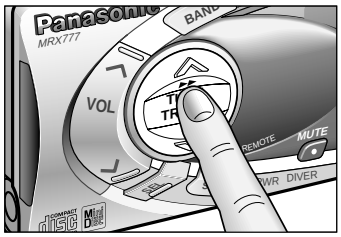
−∞ dB，　−10 dB ⟵ 0 dB ⟶ +10 dB

−∞ dB：プリアウトに接続したアンプから音が出なくなる。

● フェダー調整との連動を設定する

接続したシステムアップスピーカーの取り付け位置により，内部アンプの音量バランス（フェダー：P.36 参照）をフロント／リヤーのどちらに連動させるかを，設定することができます。　［初期設定：FRONT］

設定項目を“ F/R　SELECT ”にする。



TRACK ►► ボタン または TRACK◄◄ ボタンを押す。
※ リモコンの場合には，**＞＜ボタン** を押します。

● ボタンを押すごとに，次のように切り替わります。

FRONT ： フロントと連動する。
↕
REAR　： リヤーと連動する。